

シルバーで 知恵の輪 人の輪 社会の輪

シルバー えひめ

「自主・自立」
「共働・共助」



2022.3/No.32

第十一回定時総会を開催 (P1)

令和2年度安全就業優良センター等を決定 (P1-2)

令和3年度安全就業スローガン (P2)

「シルバーの日」活動記・センターだより (P3-9)

会員の広場 (P10)

賛助会員のみなさん・編集後記 (P11)



Silver power



第十一回定時総会を開催

令和2年度事業報告(案)など四議案を原案どおり可決

当連合会では、第11回定時総会を令和3年6月21日(月)、東京第一ホテル松山「コスモゴールド」(松山市)において開催しました。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しての総会となりました。大塚理事長を議長に選出し、審議の結果、すべての議案が原案どおり可決承認されました。

また、役員の改選が行われ、理事はこれまでの10名の方々、再任されるとともに、監事は新たに2名の方々を選任されました。

次の議案について審議を行い、すべて原案どおり可決されました。

■議事

第一号議案

令和2年度事業報告(案)の承認について

第二号議案

「令和2年度正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録」(案)の承認並びに監事監査報告について

第三号議案

定款の変更について

第四号議案

理事及び監事の選任について



目立、共働・共助

新役員の紹介

このたびの定時総会、理事会において次の方々新たな役員として選任されました。(敬称略)



監事

隅田 友清
東温市
シルバー人材センター
会長



監事

木崎 秀樹
愛媛信用金庫
常勤監事

令和2年度

安全就業優良センター等を決定

当連合会では、令和3年6月に書面決議により開催した第1回安全・適正就業対策推進協議会において令和2年度の実績により安全就業優良センター等を決定しました。次のセンター及び会員の方々が受賞され、受賞されたセンター等には表彰状と記念品をお贈りしました。

一 安全就業優良センター

新居浜市SC

二 部門別表彰

① 植木剪定部門

砥部町SC



② 途上事故無事故部門

今治市・宇和島市・伊予市・西予市・大洲市・東温市・久万高原町・砥部町・内子町・伊方町・愛南町の各SC

③ 個人部門表彰(敬称略)

鶴岡孝夫、池田園子、太鼓栄美子(以上松山市SC)、西本英雄、越智正、長橋武男(以上今治市SC)、高橋貢、法野圭之介(以上宇和島市SC)、朝飛知子、菊池定幸(以上八幡浜市SC)、山本清志、中川寿子、薬師神清(以上新居浜市SC)、青野君男、山崎耕逸、高木貞美(以上西条市SC)、長井敏一(伊予市SC)、奥田政信、澤野明博、田邊英一(以上四国中央市SC)、三瀬利雄、小西勝茂(以上西予市SC)、城滝藤徳(大洲市SC)、大北澄(東温市SC)、吉良喜久雄(松前町SC)、岡本緑(砥部町SC)、小松正弘(愛南町SC)

最優秀賞をいっしょに頂きましょう!

令和3年度

安全就業スローガンについて

令和3年11月15日(金)に開催した第2回安全・適正就業対策推進協議会において、今年度の安全就業スローガンを次のとおり決定しました。(敬称略)

今年度も、新型コロナウイルス感染防止のため、安全就業推進大会で表彰式が開催できませんでしたので、この紙面で受賞作品を御披露いたします。

最優秀賞

気の緩み

そこに危険が見え隠れ

(宇和島市SC 善家伊佐夫)



優秀賞

ちよつと待て

心のゆるみが事故を呼ぶ

(西予市SC 西口和彦)

危険の芽

いつでも・どこでも・あなたにも

(松前町SC 中矢直久)



佳作

危険の目 見る目 気づく目 予知する目

(松山市SC 矢野英輝)

確かめる 心のゆとりが安全就業

(八幡浜市SC 鎌田郁美)

忘れるな ヒヤリで済んだあの経験

(新居浜市SC 佐藤幸雄)

慣れが生む ひそむ事故に 気をつけよう

(伊予市SC 山中幹枝)

努めよう 安全安心 無事故の仕事

(愛南町SC 池田みづほ)



「シルバーの日」活動記



今年も各地で清掃奉仕活動などを実施

シルバーで知恵の輪・人の輪・社会の輪

当連合会と県内各センターでは、地域社会にシルバー人材センターの社会的意義をアピールするため、本年度も10月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定め、多くの会員等の参加を得て清掃奉仕活動など各種活動を展開しました。

REPORT 今治市シルバー人材センター

令和3年10月9日(土)に、「ありがとうサービスマス・夢スタジアム」駐車場周辺のボランティア清掃を行い、63名の参加がありました。準備運動で、体をほぐして作業に入ります。

草刈り機が使えない細かい場所の除草と清掃を行いました。10月とはいえずともお天気が良かったので、少ししたら、汗がにじむほどでした。日ごろは顔を合わさない会員さん同士が、交流をしながらの作業ですが、流石シルバーの会員さんです。笑顔でお話しをしながらも、手を止めることはありません！およそ1時間の清掃で、見る見るうちに綺麗になりました。清掃の後は、スタジアム見学をさせていただきました。



REPORT

宇和島市シルバー人材センター

当センターでは、10月16日(土)にコロナウイルス感染症現場の第一線で奮闘されている医療従事者へ向け、日々の診療に対して心より敬意を表し、市立宇和島病院敷地内の除草・清掃ボランティアを行いました。

理事長をはじめとする参加者40名は、慣れた手つきで竹ぼうきや手鋏などを使い、植栽や歩道のブロックに生えた雑草を抜き取ったり、落ち葉を掃いたりしました。

当日の夕方には、ボランティア風景がケーブルテレビで放映され、翌日の愛媛新聞には、清掃ボランティアの記事が写真付きで大きく掲載されました。短時間のボランティア活動では有りましたが、意義ある啓発活動となりました。



八幡浜市シルバー人材センター

令和3年10月22日(金)午前8時半から会員・役職員や松蔭地区公民館管内の住民の方々など約50名が参加して、ボランティア活動を実施しました。

当日は暑くもなく寒くもなく、ボランティア日和でした。八幡浜市保内庁舎前広場に集合して山内理事長の開会挨拶のあと、昨年度と同じ場所である「喜木川沿い道路」「ゆめみかん・八幡浜市保内庁舎周辺」「青石寮跡地」「みなと周辺」の市内4カ所に分かれて、剪定・草刈り・草引きや清掃等を行いました。

お互いに顔見知りであつても日頃の就業場所が異なるため、開会式前には、「あんだ、元気やった……」、「久しぶりやなあ……」などと声を掛け合っている会員がおられる一方で、自己紹介を兼ねて「よろしくお願ひします。」とあいさつされる新入会員さんもおられました。

活動が始まると、参加者のうち最高齢の85歳のベテラン会員と64歳の新入会員、親子ほども年齢差がある会員さんが一緒になって草引きをされている姿もありました。皆さん、和やかに、また、真剣に、慣れた手つきで活動されていました。

例年実施しているボランティア活動後の交流会は、新型コロナウイルスの影響で実施できず残念でしたが、活動を通して会員相互の親睦を深めることができました。



西条市シルバー人材センター

西条市シルバー人材センターでは、10月の普及啓発促進月間に合わせ、毎年恒例となっている地区ごとの清掃活動を行っています。

今年も佐伯記念館周辺(丹原地区)除草清掃、西条高校堀端周辺(西条地区)除草清掃、アウトドアオアシス石鎚周辺(小松地区)除草清掃、ウォーキングロード(東予地区)の歩道ゴミ拾いを実施しました。会員以外の方も参加していただき、皆で気持ちいい汗を流しました。仕事の話や孫の話など、会員同士の交流も深まりとても有意義な時間となりました。



伊予市シルバー人材センター

令和3年10月2日(土)市民の憩いの場である五色浜公園を行楽のシーズンに向けて、皆様に気持ちよく利用して頂くため、ボランティア活動として会員及び役職員の総勢51名で公園内の除草、剪定を行いました。



四国中央市シルバー人材センター

シルバー普及啓発促進月間である10月に市内4地区で清掃奉仕活動を実施しました。市内全体で102名の参加があり、たくさんの会員の方が参加されました。

また、今年度は、昨年度に続いて9月30日に、普及啓発事業として私たちが四国中央医療福祉総合学院を訪問し、看護学科2年生33名の参加を得て実施しました。

そこで、交流した生徒さんたちの声を紹介させていただきます。シルバー人材センターの役割と題した講義では、「今日の講義で、地域のために働くこと、健康を維持するために活動を行う高齢者がいることを知り、退職しても地域で生き生きと生活を送る高齢者がいることを知り、良いイメージに変わった」などシルバーに関しての理解が深まったのではないのでしょうか。

休憩を挟んで小枝クラフトでは、「たくさんの方と交流することが大きな力になると話されていたため、女性部の方をお手本に患者さんとも、笑顔で明るくたくさん交流できるようにしたい」。生徒さんたちと未来を拓く交流ができました。



西予市シルバー人材センター

本年も、日頃お世話になっております地域の皆さまへ感謝を込めて、10月16日(土)に宇和町の特別養護老人ホーム松葉寮、三瓶町の西予市役所三瓶支所、野村町の野村保健福祉センターの3施設で奉仕活動(ボランティア)を実施しました。

繁忙期の中にもかかわらず、会員、役員など合わせて52名の参加がありました。

当日は、日差しが暖かく絶好のボランティア日和になり、各作業箇所では理事長をはじめセンターの役員が挨拶を行い、事務局から作業の注意事項を説明した後、普及啓発用のポロシャツを着用し約3時間の作業を行いました。参加した皆さんは、それぞれの作業場所で、剪定、伐採、草刈り、草引きと、日頃培った技術を存分に発揮し、手際よく作業を進め、各施設の周辺が見違えるように綺麗に仕上がりました。作業中は心地よい汗を流し、会員相互の親睦を深め、達成感と充実感を感じた有意義な時間を共有した1日となりました。

東温市シルバー人材センター

令和3年度普及啓発活動として、重信地区では、令和3年10月12日(火)、「いわがらこども館」の剪定・除草作業に14名、11月3日(水・祝)には見奈良の「忠霊塔」の剪定作業に7名の会員が参加しました。



REPORT

松前町シルバー人材センター

また、川内地区では、10月18日(月)に「ふれあい広場」の草刈作業に15名の会員が参加しました。それぞれの作業は手際よく進められ、休憩時には会員同士の交流も深まるなど心地よい汗を流しました。ふれあい広場では作業翌日に市のペタンク大会が開催され、シルバー会員によってきれいになった広場に大会参加者や関係者の皆さんに喜んでいただくとともに、シルバー人材センターの活動をPRすることができました。



去る10月16日(土)、松前町国体記念ホッケー公園周辺の除草、清掃を行いました。松前町は、えひめ国体でホッケー競技を開催した後、ホッケーの街づくりを進めています。清掃当日も競技場では子供たちの練習が行われており、子供たちの大きな声や、父兄の声援が聞こえていました。

ホッケー場公園の広い敷地の中で、私たちは除草が行き届いていない体育館周辺や、駐車場の周辺の除草を行いました。



当日は曇りで、暑からず寒からずと天候に恵まれ、新型コロナウイルス感染症防止対策をとりながら、会員・事務局職員併せて30名の参加を得て、軽トラック1台分の除草を実施しました。

REPORT

砥部町シルバー人材センター

JR貨物基地駅「南伊予駅」に隣接した場所にあり、長閑な田園風景の中で多くのホッケー選手が親睦を深め、気持ちよく利用して頂けるような環境づくりに今後も貢献していきたいです。

令和3年10月10日(日)、例年実施している国道33号線の道路端に捨てられている、空き缶やゴミ拾いの清掃活動を行いました。

当日は会員に呼び掛け、理事長はじめ理事を含め、57名の参加があり、国道の上下線の植え込みなどの清掃や、通行者へのパンフレットの配布などにより、シルバーの活動内容や入会の案内など、会員拡大に向けての活動をしたところです。

さらに、恒例となっている町内各小学校の庭木の剪定作業は8月17日〜25日にかけて実施し、延べ63名の会員と父兄の参加もあり、一緒になって作業に励み、先生方からのお礼の言葉を頂きました。

さらに、今年は年の瀬も押し迫った12月12日(日)、「明るく元気に手をつな

ごう」をキャッチフレーズに会員拡大を目的として地域が一つになった、ふれあい餅つき体験をしました。当日は天候にも恵まれ、子供から老人まで800余名の参加があり、大人には会員がリーフレットの配布など一大イベントとなりました。



REPORT

内子町シルバー人材センター

令和3年10月30日(土)、シルバー人材センター事業普及啓発月間に合わせて、センター会員や職員45名が龍王公園の清掃ボランティア作業を行いました。草刈、草引、剪定、ゴミ拾いなど、それぞれが得意な分野で力を発揮し、晴天の中約2時間の作業で公園スペースを綺麗にしました。

また、清掃作業終了後には、豪華景品付き抽選会を行い、会員さんの交流を深めながら楽しく大笑いするなど、楽しいシルバーの日となりました。



REPORT

伊方町シルバー人材センター

シルバー人材センター普及啓発促進月間事業として、令和3年10月15日(金)早朝より各地区より25名が「せと風の丘パーク」に集まり、草刈りや清掃活動を行いました。

伊方町シルバー人材センターでは、伊方、瀬戸、三崎と3カ所に活動拠点が離れているため、普段は顔を合わすことが少ない会員同士ですが、この日は一致団結して作業を行いました。休



REPORT

愛南町シルバー人材センター

令和3年10月16日(土)秋晴れの下、会員・事務員あわせて38名が参加して、御荘老人福祉センター敷地内の清掃活動を行いました。

皆で協力しながら、和気あいあいと日ごろの感謝を込めて、一致団結で心地よい汗を流しました。

今年度は地域社会との交流として、さらに県道沿の花植えの参加を通して地域の皆さんに愛される「シルバー」を目指していきます。



REPORT

鬼北町シルバー人材センター

当センターも発足2年目に入り、住民の皆様にも少しずつ存在を認識していただき、11月までには前年度の売り上げを上回ることが出来ました。

会員さんも夏場は草刈り作業に追われ、毎日暑い中を必死で作業をこなしていただき、その間怪我や体調を崩す方も出ず、会員さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

今回鬼北町シルバー人材センターとしては2回目のボランティア作業となりますが、今年も昨年同様事務局がある「社会福祉協議会(ひまわり)」内の剪定等を実施しました。ちょうど

今年の10月に、県シルバー人材センター連合会主催による剪定教室を実施していただいていたので、会員さんも腕の見せ所で張り切って作業をしていただきました。

参加者も会員17名・事務局2名・社会福祉協議会理事長1名 計20名と大勢参加いただき、皆さん楽しそうに作業をしていただきました。

おかげで外周はもとより中庭もすっかりきれいになり、福祉協会の方々にもお褒めの言葉もいただきました。今後も会員の皆さんと共にセンターがよりよくなるよう努力していきたいと思えます。



センターだより

REPORT

松山市シルバー人材センター

2年9月にリニューアルオープンした『シルバーサロン清水町』は、新型コロナウイルス感染症防止対策で休館を余儀なくされながらも地道な活動を継続してきました。現在も基本的な感染症防止対策を講じながら「生きがい就労の場」「会員の居場所」を提供する拠点として、また地域住民や会員の皆様の楽しみと学び・交流の場として平常に近い賑わいを取り戻しつつあります。リニューアルオープン以降、毎月最終土曜日に行ってきた「ミニミニフリーマーケット」は、地域住民や会員に向けてセンターの活動情報発信の機会として少しずつ定着しており、10月29日（金）の開催も地域住民と会員の親睦を深める良い機会となり好評のうちに終了しました。

今後も地域住民や会員の様々な活動の場・情報発信の場、さらには生きがい就労発見の場として活用ができるようPRしていきたいと思えます。



REPORT

新居浜市シルバー人材センター

新居浜市シルバー人材センターでは独自事業として平成29年度より、新居浜市の旧清掃センター跡地内施設において「剪定屑チップリサイクル堆肥化事業」を実施しています。この事業の大きな目的は、地球温暖化防止対策に寄与できるということです。今まで新居浜市シルバー人材センターでは年間270t程の剪定屑採屑が発生し、そのすべてを焼却処分しておりました。その際、大量(約85t)の二酸化炭素が発生させていました。

この事業により剪定屑を焼却するのではなく堆肥「シルバーめぐり」として農地、公園、家庭菜園等への循環サイクルを実現することにより、二酸化炭素の削減に繋がることになります。

さて、「シルバーめぐり」は、平成30年の販売開始以来、7500袋程の累計販売を達成しており、年々販売数も増加している状況です。また顧客も増加し、現在160名のお客様のお宅へ配達販売しております。



砥部町シルバー人材センター

砥部町シルバー人材センター設立以来、22年間にわたり地域と一体になり、高齢者の福祉向上に努力されたことに対し、大西前理事長が「砥部町長表彰」を受けました。大西前理事長には今も相談役として、また、会員としてシルバー発展のために陰ながら御指導をいただいています。



高齢者・女性向けセミナーの開催について

開催について

今年度は、「女性」と「一般高齢者」の入会促進を図るために「整理収納セミナー」、「介護予防セミナー」、「スマホ講習会」など6種類、8回のセミナーを県内各地で開催しました。多くの方々に御参加をいただくとともに、シルバー人材センターのことを知っていただきました。



技能講習会の開催について

各センターからの開催要望のとおり、県内11センターにおいて6種類、延べ18回の技能講習会を開催しました。講習会では、まだ会員にならない方だけでなく、職種転換を希望される会員や昨年度1年間就業していない会員など幅広く受講していただきました。今後のご活躍をご期待いたします。



会員の広場



伊予市SC

川柳

◆愛妻が今度は
俺の危険予知

長田義幸

俳句

◆野良仕事 休め休めと
枯れ葉舞う

長田義幸

宇和島市SC

俳句

◆高齢者 免許返して冬籠り

◆大過なく勤めを終えし
落ち葉かな

清家 弘

川柳

◆もう誰も覚えていない
誕生日

清家 弘

◆老妻の下知に従う 風邪薬

清家 弘

新居浜市SC

俳句

◆生業を 偲ぶ茶の花 廣瀬邸

◆大股に 冬本番の 近づきぬ

幸美

川柳

◆青空が 人人まねく公園に

◆土日の 公園広場 人の波

上田年乃

◆赤白青と色とりどりの
飲みぐすり

藤原ミチノ

◆それみんな一度に飲む分
まあたいへん

藤原ミチノ



明けない夜はない

渡邊 洪

コロナ禍の発生は

2019年末だから

もう2年越しになるのに

またもや

新たなギリシア文字を冠した

ウイルスの変異株

根負けしないためにも

目を向けたいのは

地球の温暖化

貧困と格差

行き過ぎた開発など

ここにきて

お互いに手を差し伸べ合い

一步、一步

共生社会を目指してのためまぬ

努力を

それが長い目で見て

最も有効な手だてではないだろうか

明けない夜はないと

念じつつ



- DCM株式会社 様
- いよぎんビジネスサービス株式会社 様
- いよぎんリース株式会社 様
- いよぎん保証株式会社 様
- コクヨ山陽四国販売株式会社 松山オフィス 様
- セキ株式会社 様
- リコージャパン株式会社愛媛支社 様
- 伊予トータルサービス株式会社 様
- 愛媛信用金庫 様
- 愛媛総合警備保障株式会社 様
- 株式会社EBCプロダクション 様
- 株式会社いよぎんコンピュータサービス 様
- 株式会社アートアイデア 様
- 株式会社アド・センター 様
- 株式会社キャップ 様
- 株式会社キョウエイアドインターナショナル 様
- 株式会社ク・ロウル 様
- 株式会社コピーセンター 様
- 株式会社テレビ愛媛 様
- 株式会社ハラプレックス 様
- 株式会社伊予銀行 様
- 株式会社伊予鉄グループ 様
- 株式会社愛媛新聞社 様
- 全労済愛媛推進本部 様
- 南海放送サービス株式会社 様
- 南海放送株式会社 様
- 三井住友海上火災保険株式会社 代理店mix. 様

ご協力ありがとうございます。

編集後記

作成して放映いたしました。

「入ってワクワク知るシルバート」のBGMをバックに笑顔のシルバー会員が地元のロケ地で手を振りながら入会を呼びかけています。それぞれのセンターの特色もよく出ていて、明るい雰囲気伝わってきます。「親しみがもてる」、「会員がみんな楽しそう」、「印象に残る」といった感想を多くの方からいただきました。

さらに、今年度は、会員さんや発注者をプロの記者に取材してもらい「きらめくシルバー世代」と題して5回シリーズで新聞広告を掲載しました。実際の仕事の様子や様々な分野にわたる活躍の状況を一般の方々に広く詳しく知ってもらい、また、仕事をしている会員さんの活き活きとした声も載せていただきました。その中でも松山市SCの会員の兵頭啓一さんがおっしゃられていた「元氣だから働くのではなく、働いているから元氣です。」という言葉が特に印象に残っています。

そのとおりですね。これからも元氣で居続けるために、私も働ける間は働こうと思いました。そして、シルバー人材センターのことをまだ御存じない人たちに知っていただき、仲間を増やして、多くの人が生きがいのある元氣で楽しい毎日を送れるようにしたいと改めて思った次第です。



公益社団法人 愛媛県シルバー人材センター連合会

〒790-0001 松山市一番町1丁目14番地の10 井手ビル3階
TEL (089)915-1420 FAX (089)915-1421 Eメール ehimeken@sjc.ne.jp
<https://www.ehime-silver.or.jp/>

編集
発行